

くらしの達人。【町を元気にする達人】竹下 徹さん(45歳)

PROFILE

たけした とおる 1971年生まれ 安来市在住
学習書籍 営業職

「地域(荒島)と共に成長する喜び」

安来市荒島地区で暮らす竹下さんは、町内や荒島地区の催し事を企画し、自らが楽しみながら地域を元気にしておられます。約15年前から、町内の若手有志で活動を始め、9年前からは町内の祭り「松崎祭り」を立ち上げました。

「今は、毎年どんな新しい事をしようかと考える事が楽しいですが、始めた当初3年間はすごく大変で、色々な事が起こり、試行錯誤の連続でした。」と当時の事を振り返ります。

「どんなに大変な事があっても、自分を含めた大人達が本気で楽しみながら乗り越えて行くところを子供達に見て欲しい。」と思いを語る竹下さん。

そして2年前には「沢山の子供達に本物(生演奏)の音楽を聞いて欲しい。」という熱い思いが、多くの人々の共感を呼び、開催場所



ミュージックフェスで司会をする竹下さん(左)



安来
散策

やタイムニングに恵まれたこともあって「荒島ミュージックフェス」という音楽イベントを立ち上げる事になりました。

「やるからにはスタッフが本気で関わり、感動を伝えたい。」という竹下さんの強い思いと、荒島の魅力が松江市出身のアーティスト山根万里奈さんにも伝わり、2年連続で出演しておられます。

「このイベントはまだ、始まったばかりで知名度も低いです。今のところは、荒島以外から沢山のお客さんに来て欲しいというよりは、まず私たちの住む荒島地区の子供からお年寄りまで、老若男女が参加して楽しめる「音楽祭」になって欲しいと思っています。」

と、まだまだ地域の為に熱意とアイデアの尽きない竹下さんです。

「260年の伝統 広瀬町 祇園祭」

(今朝の散策人)
五里 徹人の小巻です。



私の住む町、広瀬町で毎年行われている「広瀬 祇園祭」をご紹介します。広瀬の祇園祭は京都の祇園祭りに由来し、260年以上も続く伝統のあるお祭りです。

例年7月19日、21日の3日間で行われ、私を含め広瀬に住む人にとって、一年に一度の欠かせない行事となっています。

最終日の21日は、御神体を乗せた神輿(みこし)と約30本の竿灯(かんとう)が町内を練り歩きます。

夜になると町の大通りに屋台も並び、夏休み中の子供たちをはじめ沢山の方々がお祭りを楽しんでいます。

最後に神輿が大通りを通る時には、沢山の人がいる中を通過する為、とても迫力があり盛り上がりは最高潮に達します。

法被(はっぴ)を着て神輿を担ぐ事は、町内の男達の誇りなんです。

皆さん是非一度その勇姿を見に来て下さい。

編集後記

マエプレ1号に続き、2号を無事に発行できた事を嬉しく思います。ご協力頂いた全ての方に、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

先日、こんな事がありました。マエプレ1号の「おやつのレシピ」を見た方から、「実際に作ってみよう!」とお声掛けを頂きました。その時は、「この情報誌を作ってよかったな〜」と感激しました。

さて、今回の「マエプレ」は「形のない物に価値を見出す事」の大切さをテーマにして、取材をさせて頂きました。「安来散策」のコーナーでは、広瀬町の祇園祭りの事を地元に住む社員さんに取材してもらいました。法被姿や、お祭りに参加する姿は、会社では見ることができない良い顔をしています。

「暮らしの達人」のコーナーでは、音楽イベントを通じて「感動」に魅力を感じておられる方のお話です。

前田 剛司

さらにお父さんのほのぼの日記
「おねえちゃん、いつてらっしゃい。」
今朝のさらは、珍しく甘えん坊さん。
小学校に行く準備をするお姉ちゃんの姿を見て、
「さらも一緒に行くー!!」
と言って自分も靴を履きました。
まだ、お姉ちゃんと一緒に行くことはできないので、みんなでお見送りする事にしました。
「お姉ちゃん、行ってらっしゃい。」
お姉ちゃんを送り出したものの、大好きなお姉ちゃんと離れるのが、すごく悲しいさらです。
涙がほろりと流れます。
だんだん見えなくなるお姉ちゃんの姿をずっと見守っています。
角を曲がり姿が見えなくなると、お父さんはいつもの様に、さらをおんぶして、連れて帰りました。
お父さんのおんぶが大好きなさらは、さっきまでの涙が嘘のように、とても楽しそうです。
(おしまい)



パニエ店長の前田さおりが、ちょっとした工夫で美味しい簡単スイーツのレシピをご紹介します!

パニエ洋菓子店 鳥取県境港市芝町1618
TEL.0859-42-4502

皮ごとムシャムシャ☆
坊ちゃんカボチャでハロウィンスイートパンプキン

材料

坊ちゃんカボチャ	一個(正味300g)
砂糖	60g
バター	40g
はちみつ	10g(無くても可)
塗り卵用卵黄	一個

- 坊ちゃんカボチャのヘタの部分をフタになるように切り、スプーンなどで中をくり抜く。実を取り出したカボチャの外側に包丁などでジャックランタンの顔を彫っておく。
- くり抜いた実の部分を、電子レンジで柔らかく(箸が刺さる位)になるまでチンする。
- 柔らかくなったらフォークなどで潰して暖かいうちに砂糖、バター、はちみつを加える。水分がある場合は、手で少し煮詰めて硬さを調節する。
- 作っておいたカボチャの容器に③を入れ、用意しておいた塗り卵を上塗りに塗って、オーブンで焼き色が付くまで焼く。(およそ30分)

コツ・ポイント

茹でてからの方がくり抜き易いですが、後々加工が難しくなるので硬くても生のままでくり抜いた方が仕上がりが良くなります。

皮ごと
ホクホク食べれます!

豊かな暮らしのための情報誌

マエプレ
Mae Pre

2016 October vol.002

Maeda Plasters Press

発行/ **Maeda Plasters**

マエダプラスターズ

〒692-0015

鳥取県安来市今津町王神89-5

TEL.0854-33-0028

URL <http://maeda-p.jp>

E-mail info@maeda-p.jp

お庭のある暮らし

綺麗になったお庭で

DIYを楽しむ♪

●安来市在住

Y様

中海に面した閑静な住宅街にあるY様のお宅。ご親類から譲り受けた時には、整備のされていない広い敷地に建物がボツンと建っており、敷地に家があるだけの殺風景な感じでした。」とご主人様は振り返ります。

「だから少しでも庭をすっきり綺麗にさせたい。」という思いを形にして、クルマがたくさん停められる駐車場と、そこから洋風の建物に向かうアプローチを色鮮やかな自然石でコーディネートしました。」

「庭を作ってから、ご近所さんにも、綺麗になりましたね。」と声掛けをもらって嬉しいですね。」と嬉しさが会話に滲みます。

「昔は庭には興味がなかったのですが、今は散歩の時にいろいろなお家の庭を見て回るのが好きになりました。」

「今年のは夏は、綺麗になったお庭でBBQをしたり、まだ幼い男の子のお子様とプールをしたりして楽しめました。」

「きつとお子様も、もう少し大きくなったら、お父さんのお手伝いをしてくれるのではないのでしょうか?そんな楽しみも広がるY様のお庭です。」



赤い
キャリートラック
格好いいでしょ!